

第14回全国中学生弓道大会参加中学生の感想

【男子団体】

羽咋市立羽咋中学校 3年 山本 優真

県大会で優勝してから約1ヶ月間の全国大会に向けての練習では、前半はとても調子が良かったが、後半になっていくにつれて、調子が落ちていくのがわかった。当たらないという焦りからさらに当たらなくなったときもあったが、最後の一週間前でなんとか調子を取り戻し、大会をむかえることができた。

大会前日、会場で練習すると普段と感覚が違い、やりにくさを感じた。そのため練習ではいつも通り当てることができなかつた。大会一日目の予選では42チーム中16チームが勝ちあがることのできるため、最初は余裕で決勝に進出できると思っていた。しかしいざ一回戦が始まると僕は全然当たらないのに他のチームが当てているのを見て、焦りと上手くいかないイライラでいっぱいになった。二回戦目はなんとかいつも通りの射が出来たため安定して当てることができ、気持ちが少し楽になった。

結果として、予選は突破することができなかつたが、悔いの残らない射を最後にすることができたので良かったと思う。

羽咋市立羽咋中学校 3年 杉江 優斗

全国大会を終えて驚いたこと、印象に残ったことは、会場がとても広いこと、家族や先生、コーチが応援してくれたことです。大会を迎えるにあたり、緊張はするだろうと想像していたけれど、思っていた以上に緊張をしてしまいました。この日のために練習してきたことは十分に出せたと思っていたけれど、結果は予選落ちでした。約1ヶ月間、チームのみんなと練習してきて、頑張るぞという気持ちでいたのでとても悔しかったです。

この大会に出場するまでに指導してくれたコーチや先生、身の回りの世話をしてくれた両親にとっても感謝しています。思ったような結果は残せなかつたけれど、全国大会に出場できたことは本当にうれしかったです。

この大会で得た集中力やチームを思う気持ち、仲間意識を高校へ行っても大切に部活動に励みたいです。そして弓道は、高校になっても大人になっても必ず続けていこうと思います。

羽咋市立羽咋中学校 3年 堀田 達琉

大会には本来の力を発揮できるように心を落ち着かせていきました。しかし会場には県大会のときと比べものにならないくらい多くの観客がいて、今までに経験したことのないような状況でした。緊張には慣れているつもりでしたが、やはり緊張してしまいました。

予選では一回戦も二回戦も自分なりに緊張感を活かして戦えたと思います。良い結果とは決して言えないけれど、今ある力を出し切れたので満足しています。チームとしては、予選突破はできなかつたけれど、一人ひとりが目の前の的へしっかりと向き合い、成長できた良い機会になったのではないかと思います。

今回は、反省や他県の人からの射から学ぶことが多かつたです。技術だけではなく精神も共に鍛えてこそ、ようやく本来の力を発揮できるということ、またそのために鍛錬を続けていくことの大切

切さを痛感しました。

石川代表として出場したのにも関わらず結果を残すことができず、残念で申し訳ない気持ちと悔いが残る気持ちでいっぱいですが、この気持ちを忘れず、この経験を生かして弓道をはじめとした様々なことにつなげていきたいと思います。

羽咋市立羽咋中学校 3年 松本 瑞希

全国大会までの練習では、今までほとんどやっていなかった座射で練習をしてきたので始めのほうは、的中が少なくなっていました。練習をするうちに少しずつ座射でも当たるようになってきて手ごたえを感じました。また、今まではあまり意識してこなかったきれいな射を意識して練習することができたのでこれからもきれいな射を目指して頑張っていきたいと思います。

大会では、補欠で出場することはできなかったですが、会場の様子や選手の真剣さなどがとてもよくわかりました。このような経験ができる人はなかなかいないと思うので、この経験を活かしてこれから高校でも弓道を頑張っていきたいと思いました。そしてもし全国大会にいったら、次は補欠としてではなく選手として大会に出場したいと思います。

【男子個人】

石川県立金沢錦丘中学校 2年 藤谷 武蔵

私は、八月十八日から二十日までの全国大会に出場しました。出場が決まったときは、嬉しかったのですが、同時に自分で良いのかと不安にもなりました。全国大会までの一か月間は、いつも以上に練習しました。徐々に予選突破するために必要な八射五中をできるようにし、決勝に残れるように努力しました。

八月十八日、東京に移動し、公開練習をしました。初めは、少し緊張してしまい、思った通りにできなかったのですが、二回目でなんとか会場の雰囲気になれることができました。しかし本番では、八射四中だったので、決勝まで残れませんでした。今、振り返ると周りの人達に圧倒されてしまい、焦ってしまったのだと思います。

今回は、予選で落ちてしまいましたが、来年も全国大会に出場し、決勝まで残れるようにしたいです。

【女子団体】

中能登町立中能登中学校 3年 豊島 壱織

私は、この素晴らしい舞台に立てたのは、支えてくださった方々のおかげだと思います。まず、常に私たちのことを応援してくれた両親やコーチ、先生方、共に戦ってきた仲間。この方々がいなければ、私たちは、絶対無理だったと思います。

また、全国大会に出場して大切なことを学びました。それは、「努力」です。日々の積み重ねが本当に大切だということです。毎日一生懸命したことで、全国出場という目標が果たせました。結果は、予選落ちだったけどいい経験になりました。本当に、ありがとうございました。

中能登町立中能登中学校 3年 島田 春奈

私は、正直全国大会には行けるとは思っていませんでした。でも、全国大会が決まった時は、本当に夢のようでした。ここまでこられたのは、顧問の先生、コーチ、保護者の方々のおかげだと

思います。全国大会では、予選落ちだったけど、自分なりに一生懸命したので悔いはありません。ここまで応援してくださり、ありがとうございました。

中能登町立中能登中学校 3年 永村 愛心

私は、全中に行くことができ、とてもすばらしい経験ができたと思いました。全中に行けるとは思ってなくて、県大会に優勝して全中に行くことが決まった時は、本当に信じられなくて夢のようでした。

全中会場の、明治神宮で射ることは、人生で一度の経験だと思うので、とても幸せでした。私を支えてくださったコーチ、顧問の先生方、保護者の方々、本当にありがとうございました。

中能登町立中能登中学校 3年 原 知世

私は、補欠選手として、全国中学生弓道大会の公式練習に出ましたが、とても有意義な経験ができたと思います。初めて、全国規模の大きな大会を見て、他県のレベルを知ることができました。

また、このような経験ができたのは、指導してくださったコーチ、先生、支えてくださった保護者の方々のおかげだと思います。本当に、ありがとうございました。

【女子個人】

羽咋市立羽咋中学校 3年 丸田 莉咲

私はこの日のために、一生懸命練習を積み重ねてきました。会場についた時、想像以上の広さと人の多さにワクワクした気持ちと緊張がこみ上げてきました。本番は、今まで経験したことがないほどの緊張が走って頭が真っ白になりました。私は、コーチに教わったことを思い出して一射一射を大切に射りました。練習で調子がよかった分、本番でその成果を出せなかったのがとても悔しかったです。

今回の全国大会で弓道の難しさと楽しさを改めて実感することができました。めったにできない貴重な体験ができてとても嬉しかったし、良い思い出になりました。また、いつも優しく指導してくれたり、大会でも「大丈夫だよ」と支えてくれたりしたコーチに感謝したいです。

全国大会で味わった悔しさをバネにして、高校生になっても弓道部に入部し、インターハイ出場という大きな目標に向かって、また頑張っていきたいです。